

地域企業が共に学び、モノづくり現場改善を高め合う発表・交流イベント

# 改善事例発表大会2026

中国・四国地域

現場の知恵と挑戦が未来を拓く ～改善事例発表大会の開催に寄せて～

「もっと現場を良くしたい」という情熱をもとに、チームワークや現場の知恵と工夫を駆使した発表事例。本大会で発表されるみなさんの粘り強い取り組みや、発表に至るまで準備してきた挑戦に深く敬意を表します。活動から生み出される挑戦と成果は、まさに**日本のモノづくりの原動力**と言えます。

また、本大会は同業種・異業種・異分野から学べる貴重な**相互研鑽の場**でもあります。これまでにない気づきや発想を、自社での活動に活かしていただくことに期待しております。

昨今、**人手不足**や**DXの急速な進展**など、さまざまな環境変化がありますが、現場の創意工夫と人材育成こそが、日本のモノづくりの競争力の源泉です。本大会が日本のモノづくりの「**現場力**」をさらに高め、みなさんの成長と日本のモノづくりの明るい未来を切り拓く契機となることを確信しております。みなさんの一層のご活躍を心よりお祈り申し上げます。



公益社団法人日本プラントメンテナンス協会  
会長 河合 満  
(トヨタ自動車株式会社 エグゼクティブフェロー)

## 改善事例発表大会の3つの特色

製造・保全の最前線の改善事例が集う発表大会です！

### 1. 現場で“本当に効いた”改善事例から、実践力が高まる！

→ 考え方・進め方・工夫のポイントを学び、**自分たちの現場で活かせる力**を養います。

### 2. 発表者との交流で、現場を動かすヒントが得られる！

→ 苦労や失敗も含めた生の話から、**具体的な行動につながる気づき**を得られます。

### 3. 刺激が主体性を引き出し、現場力の好循環を生む！

→ 他社事例が改善意欲を高め、**人と組織を成長させる現場力向上**につながります。



## 発表企業

企業名50音順  
法人格略

発表社数：12社！ 発表事例数：14事例！

倉敷化工

東レ

サントリープロダクツ

徳山積水工業

JFEスチール

ヒロテック

住共エンジニアリング

PSジャパン

住友化学

マツダ

住友共同電力

リョービミラサカ

## 開催情報（中国・四国地域）

2026年6月19日（金）開催  
広島県情報プラザ

今大会の中国・四国地域では、下記の発表傾向の特色がみられます



イベントの詳細・お申込みは、

改善事例発表大会 公式サイト

<<https://info-jipm.jp/event/kaizen/>>



全国設備管理強調月間とは？

経営者層をはじめ全従業員の設備管理への意識を高め、設備管理の重要性を広く認識いただくことで、産業界の生産性向上のみならず環境保全や事故、災害防止に寄与することを目的としています

中国・四国		2026年6月19日(金)		広島県情報プラザ(広島県広島市)		※敬称略	
時間		発表情報					
9:30		開場・受付開始					
10:00▶10:10		開会のあいさつ					
事例1	10:10 ▼ 10:30	工務・保全	ルーパーロール点検作業安全化 ～見えない“モノ”を視る時代へ～			岩崎 樹	<発表キーワード> ・安全 ・作業の効率化・容易化
	JFEスチール株式会社 西日本製鉄所 福山地区 設備部 冷延設備室						
事例2	10:30 ▼ 10:50	運転・製造	業務効率化プロジェクト 現場からもサステナブルに改善			坂口 拓也	<発表キーワード> ・作業の効率化・容易化 ・職場のダイバーシティ
	PSジャパン株式会社 水島工場 製造チーム						
10:50▶11:00		休憩					
事例3	11:00 ▼ 11:20	工務・保全	重大故障リスクを凌ぎ、 ピンチをチャンスに変えて予知保全を確立			丸児 亮介	<発表キーワード> ・デジタル技術を利用した改善 ・予防保全・予知保全 ・設備の管理方法・基準の見直し
	東レ株式会社 愛媛工場 工務部動力課						
事例4	11:20 ▼ 11:40	運転・製造	EMスケール除去作業負荷軽減			岡村 知典	<発表キーワード> ・作業の効率化・容易化 ・安全 ・設備の管理方法・基準の見直し
	徳山積水工業株式会社 本社工場 ポリマー製造部 ポリマー製造課						
事例5	11:40 ▼ 12:00	運転・製造	タッチセンサーの再生化と長寿命化 ～検知機能の維持管理で守られる安全と品質～			國石 典亜	<発表キーワード> ・設備の信頼性向上 ・設備の管理方法・基準の見直し ・自主保全
	マツダ株式会社 本社工場 第2パワートレイン製造部 第3エンジン課 第1機械係						
12:00▶12:45		昼休憩(お弁当をご用意しております)					
事例6	12:45 ▼ 13:05	運転・製造	ロスゼロ化に向けた、難課題への挑戦			森 真人	<発表キーワード> ・品質安定化・向上 ・設備の管理方法・基準の見直し ・作業の効率化・容易化
	倉敷化工株式会社 本社 自動車製造部 第二製造課 ホース班 組長						
事例7	13:05 ▼ 13:25	運転・製造	段替え時間短縮			有清 齊弥	<発表キーワード> ・作業の効率化・容易化 ・安全
	株式会社ヒロテック 湯来工場 製造部 組立課 班長						

中国・四国		2026年6月19日(金) 広島県情報プラザ(広島県広島市)		※敬称略
時間		発表情報		
事例 8	13:25 ▼ 13:45	<b>運転・製造</b> 500mlリンサー出口PF詰まり削減による工程安定化 サントリープロダクツ株式会社 天然水奥大山ブナの森工場 製造部門(Aライン容器グループ)	新田 航	<発表キーワード> ・設備の管理方法・基準の見直し ・自主保全
	13:45▶13:55	休憩		
事例 9	13:55 ▼ 14:15	<b>運転・製造</b> 火力発電所でのDXの取り組みについて 住友共同電力株式会社 新居浜西火力発電所 発電部火力運転課	高橋 敦志	<発表キーワード> ・デジタル技術を利用した改善 ・作業の効率化・容易化 ・予防保全・予知保全
	14:15 ▼ 14:35	<b>工務・保全</b> 当社の設備保全に関するDXの取り組みについて 住共エンジニアリング株式会社 施設部 電計チーム 水変	真鍋 直樹	<発表キーワード> ・デジタル技術を利用した改善 ・作業の効率化・容易化 ・予防保全・予知保全
事例 10	14:35 ▼ 14:55	<b>工務・保全</b> 1TCMギヤスピンドル取替方法の確立 ～50年の歴史に終止符を～ JFEスチール株式会社 西日本製鉄所 倉敷地区 設備部 冷延電磁設備室	小野 敦史	<発表キーワード> ・安全 ・作業の効率化・容易化 ・改良保全
	14:55▶15:05	休憩		
事例 12	15:05 ▼ 15:25	<b>運転・製造</b> 多様な力が生きる自律的なカイゼン活動 住友化学株式会社 愛媛工場 菊本第一製造部第二製造課	合田 凌雅	<発表キーワード> ・作業の効率化・容易化
	15:25 ▼ 15:45	<b>工務・保全</b> AI画像検査技術を用いた設備診断への挑戦 マツダ株式会社 本社工場 車体製造部 車体工務技術Gr 工務係	藤田 真澄海	<発表キーワード> ・予防保全・予知保全 ・デジタル技術を利用した改善 ・設備の管理方法・基準の見直し
事例 14	15:45 ▼ 16:05	<b>運転・製造</b> 『腰がやばいです。。。』からの大逆転 ～全員野球で挑んだ、プレート組付け時間短縮への挑戦記～ リョービミラサカ株式会社 製造部加工課加工一係 加工担当主任	森光 祐太	<発表キーワード> ・作業の効率化・容易化
	16:05▶16:50	発表者との交流		
16:50▶17:05	全国設備管理強調月間応募作品のご紹介			
17:05▶17:20	表彰式			

### ルーパーロール点検作業安全化 ～見えない“モノ”を視る時代へ～

JFEスチール株式会社  
西日本製鉄所 福山地区  
設備部 冷延設備室

岩崎 樹

ルーパーロール点検は稼働中のロールへ近づいて確認する作業が危険を伴っていた。本改善では見えない状態を前提に、離れた位置から状況を把握できるようにし、点検時の不安と災害リスクを低減した事例を発表する。

### タッチセンサーの再生化と長寿命化 ～検知機能の維持管理で守られる安全と品質～

マツダ株式会社  
本社工場  
第2パワートレイン製造部  
第3エンジン課 第1機械

國石 典亜

エンジン部品のコンロッドを加工するラインにおいて、稼働阻害要因であるチョコ停ロス削減に取り組む。チョコ停ロスの約40%はタッチセンサーが起因している為、センサーの細部まで手の内化し、自分達の手で管理できるようになった事例を発表する。

事例  
1

S

事例  
5

P

事例  
2

M

### 業務効率化プロジェクト 現場からもサステナブルに改善

PSジャパン株式会社  
水島工場 製造チーム

坂口 拓也

働きやすい職場づくりは、今や会社の成長に欠かせないテーマとなり、様々な企業が環境改善に取り組んでいる。水島工場では現場のオペレーション負荷低減を主要課題に掲げ、自分たちが出来るところからコツコツと改善を進めた事例を発表する。

### ロスゼロ化に向けた、難課題への挑戦

倉敷化工株式会社  
本社  
自動車製造部 第二製造課  
ホース班 組長

森 真人

わが社では、モノづくり革新の一環として製造部門の改善を実施している。慢性課題として取り掛かっていない難課題を全社一丸となり解決し生産性向上を行い、部門の採算性をあげる目標に取り組んだ事例を発表する。

事例  
6

P

事例  
3

C

### 重大故障リスクを凌ぎ、 ピンチをチャンスに変えて予知保全を確立

東レ株式会社  
愛媛工場 工務部動力課

丸児 亮介

蒸気タービン発電機のトラブルにより約125百万円のリスクが発生したが、PIMSデータ分析で異常範囲を特定し凌いだ。データ分析と三現主義にて本質原因を究明し、ピンチをチャンスに変えて予知保全を確立した事例を発表する。

### 段替え時間短縮

株式会社ヒロテック  
湯来工場 製造部  
組立課 班長

有清 斉弥

生産性向上に向け、段替え時間の短縮が重要な課題となった。作業手順の見直しおよび作業のやり易さを向上させる改善活動を推進した。併せて、作業の標準化を図り、新人作業者に対する教育方法の見直しにも取り組んだ事例を発表する。

事例  
7

P

事例  
4

M

### EMスケール除去作業負荷軽減

徳山積水工業株式会社  
本社工場  
ポリマー製造部  
ポリマー製造課

岡村 知典

エンゲージメント・若手の離職率を背景に、負荷軽減を図るべく独自指標を創り高負荷作業を抽出。抽出した作業を細分化して、それぞれ負荷要因と攻め所を特定。ベテラン含めチーム一丸となって低負荷化した事例を発表する。

### 500mlリンサー出口PF詰まり削減による 工程安定化

サントリープロダクツ株式会社  
天然水奥大山ブナの森工場  
製造部門  
(Aライン容器グループ)

新田 航

度重なるプリフォームの軽量化や形状変更により、天然水550mlの製造において慢性的にリンサー出口詰まりが発生するようになった。加工点解析から条件設定を行って安定化を実現し、リンサー出口詰まりを改善した事例を発表する。

事例  
8

P

<p>事例 9</p> <p><b>P</b></p>	<p><b>火力発電所でのDXの取り組みについて</b></p> <p>住友共同電力株式会社 新居浜西火力発電所 発電部火力運転課</p> <p style="text-align: right;">高橋 敦志</p> <p>当社は火力・水力発電所にて近隣の住友グループ企業へ電気・蒸気を供給している。火力発電所の運転業務にMicrosoft365サービスの応用等でデジタル技術を取り入れて生産性向上を図った。その取組事例を発表する。</p>	<p><b>多様な力が生きる自律的なカイゼン活動</b></p> <p>住友化学株式会社 愛媛工場 菊本第一製造部第二製造課</p> <p style="text-align: right;">合田 凌雅</p> <p>私たちの職場は、繰り返される増産対応（起業対応や人員の拡充）で多忙な中でも、多様な人材の気づきを起点に、持続可能な工場に向け、自分たちでできる身の丈に合ったカイゼンを推進してきた。その活動の一端を発表する。</p> <p>事例 12</p> <p><b>P</b></p>
<p>事例 10</p> <p><b>P</b></p>	<p><b>当社の設備保全に関するDXの取り組みについて</b></p> <p>住共エンジニアリング株式会社 施設部 電計チーム 水変</p> <p style="text-align: right;">真鍋 直樹</p> <p>当社は住友共同電力のグループ企業で、火力・水力発電所の設備保全を行っている。発電所の設備保全業務にMicrosoft365サービスの応用等によるデジタル技術での生産性向上の取組みをした事例を発表する。</p>	<p><b>AI画像検査技術を用いた設備診断への挑戦</b></p> <p>マツダ株式会社 本社工場 車体製造部 車体工務技術Gr 工務係</p> <p style="text-align: right;">藤田 真澄海</p> <p>「AI画像検査技術を用いた設備診断への挑戦」では、カメラ画像からプレス設備のブレーキストロークを測定し、ストローク量の傾向管理と閾値を基に状態監視するシステムの導入とその成果について発表する。</p> <p>事例 13</p> <p><b>D</b></p>
<p>事例 11</p> <p><b>S</b></p>	<p><b>1TCMギヤスピンドル取替方法の確立 ～50年の歴史に終止符を～</b></p> <p>JFEスチール株式会社 西日本製鉄所 倉敷地区 設備部 冷延電磁設備室</p> <p style="text-align: right;">小野 敦史</p> <p>1TCMギヤスピンドル取替作業について、長年続いてきた高リスク・長時間作業の課題を分析し、専用治具を考案。横抜き取替を可能にすることで、安全性向上と作業時間短縮を実現した事例を発表する。</p>	<p><b>『腰がやばいです。。。』からの大逆転 ～全員野球で挑んだ、プレート組付け時間短縮への挑戦記～</b></p> <p>リョービミラサカ株式会社 製造部加工課加工一係 加工担当主任</p> <p style="text-align: right;">森光 祐太</p> <p>ネック工程のサイクル短縮 組付け機の作業が設計サイクルに入っておらず、短縮して設計サイクルに入れる為とプレートを取 る際に腰をかがめる動作があり現場OPから作業 がしにくいと相談があった。少しでも安全に簡単 に作業が出来るように改善した事例を発表する。</p> <p>事例 14</p> <p><b>P</b></p>

- P**：生産性に関する事例
- Q**：品質に関する事例
- C**：コスト・原価低減に関する事例
- D**：納期・リードタイムに関する事例
- S**：安全（労働安全・防災等）に関する事例
- M**：士気・組織活動・働きがい等に関する事例
- E**：環境・カーボンニュートラルに関する事例
- 他：その他

あなたの  
**現場に活かせるヒントや刺激  
が盛りだくさん！**



## 改善事例発表大会の特徴

『いま』の現場最前線の改善が集結！

『設備管理・保全事例』のトレンドが聴ける！

あなたの困りごとの解決のヒントがある！

発表⇔交流で広がる、新たな人脈とアイデア！

## 改善事例発表大会の様子

発表



表彰



質問



聴講



交流会



交流会では、発表者の方から直接お話を伺うことができます！  
成功体験はもちろん、失敗体験も聞くことで、自職場の悩みや不安の  
解消、課題解決のヒントを見つけてみませんか？



## 大会参加者からの感想

- ・現場での改善にとどまらず、他工場や他メーカーにも横展開できる内容だった
- ・他分野の企業様の改善事例を生で聞くことで、新たな視点が得られた
- ・現場の実態を踏まえた改善取組みは、自職場でも再現性が高く感じられた
- ・多種業種の事例を通じ、共通するヒントが得られ、モチベーションが向上した
- ・指導・教育を実施するための参考になった など

# 今年度の改善事例は？

現場の最新の改善事例を**全国7地域・約60社・約100事例発表**予定です。

次世代の現場改善とは？ 自職場の**改善のヒント**にお役立てください！

**地域ごとに特別企画や交流会**を開催します！

その地域でしか聴講することができない**企画が多数**！

各地域のプログラムは、HPに掲載いたします。

## 北陸地域

### ◆6月30日（火）

アイシン軽金属株式会社  
コマニー株式会社  
デュポン・MCC株式会社  
東レ株式会社  
株式会社不二越

## 西日本地域

### ◆6月17日（水）

アイシン九州株式会社  
旭化成株式会社  
クラサケミカル株式会社  
住友化学株式会社  
東ソー株式会社  
トヨタ自動車九州株式会社  
トヨタ紡績九州株式会社  
日本ゼオン株式会社  
マツダ株式会社  
UBE株式会社

## 中国・四国地域

### ◆6月19日（金）

倉敷化工株式会社  
サントリープロダクツ株式会社  
JFEスチール株式会社  
住共エンジニアリング株式会社  
住友化学株式会社  
住友共同電力株式会社  
東レ株式会社  
徳山積水工業株式会社  
株式会社ヒロテック  
PSジャパン株式会社  
マツダ株式会社  
リョービミラサカ株式会社

## 東北・北海道地域

### ◆6月19日（金）

アイシン東北株式会社  
アイシン高丘東北株式会社  
サタケ東北株式会社  
JFEスチール株式会社  
株式会社デンソー岩手  
トヨタ自動車東日本株式会社  
トヨタ自動車北海道株式会社  
日産自動車株式会社  
日本製鉄株式会社

## 関東地域

### ◆6月25日（木）

旭化成株式会社  
サントリープロダクツ株式会社  
シヤトコ株式会社  
JFEスチール株式会社  
株式会社SUBARU  
東レ株式会社  
株式会社トーコン  
日産自動車株式会社  
富士フイルムマテリアル・ニューファクトリズ株式会社  
株式会社レゾナック

## 中部地域

### ◆5月22日（金）

愛三工業株式会社  
株式会社アイシン  
アイシン高丘株式会社  
愛知機械工業株式会社  
愛知製鋼株式会社  
石原産業株式会社  
出光興産株式会社  
イビデン株式会社  
サントリープロダクツ株式会社  
JFEスチール株式会社  
大同テクニカ株式会社  
大同特殊鋼株式会社  
宝石油機工株式会社  
株式会社デンソー  
株式会社東海理化  
東レ株式会社  
豊田合成株式会社  
トヨタ自動車株式会社  
株式会社豊田自動織機  
トヨタ車体株式会社  
トヨタ紡織株式会社  
日本製鉄株式会社株式会社  
ライテラジャパン株式会社

## 関西地域

### ◆6月12日（金）

旭化成株式会社  
株式会社クボタ  
グンゼ株式会社  
株式会社神戸製鋼所  
サカタインクス株式会社  
サントリープロダクツ株式会社  
シスメックス株式会社  
ダイキン工業株式会社  
東レ株式会社  
日本製鉄株式会社

# 改善事例発表大会2026は、全国7地域で開催！！



地域	開催日	会場
東北・北海道	6月19日(金)	仙台市中小企業活性化センター
関東	6月25日(木)	曳舟文化センター
北陸	6月30日(火)	富山国際会議場
中部	5月22日(金)	ポートメッセなごや
関西	6月12日(金)	京都テルサ
中国・四国	6月19日(金)	広島県情報プラザ
西日本	6月17日(水)	海峡メッセ下関

各地域の詳細は、改善事例発表大会公式サイトをご覧ください<<https://info-jipm.jp/event/kaizen/>>

## 参加お申込み

改善事例発表大会公式サイト<<https://info-jipm.jp/event/kaizen/>>  
の“参加お申込み”から



### 参加料（10%税込み価格）

通常価格		自主保全士 優待価格※2		TPM経営者懇話会 会員価格
会員※1	一般	会員※1	一般	※3
19,250円	25,850円	9,900円	14,300円	<b>ご招待</b>

- 上記料金は、1会場あたり1名で参加する場合の料金です
- 参加料には、昼食・テキスト（資料）代が含まれています
- ※1 会員価格の適用には、公益社団法人日本プラントメンテナンス協会（正会員・事業所会員）、もしくは一般社団法人日本能率協会（法人会員・協賛団体会員）の会員であることが必要です  
会員ご入会の有無は、下記のWEBサイトにてご確認ください  
・公益社団法人 日本プラントメンテナンス協会  
<<https://www.jipm.or.jp/company/memberlist/>>  
・一般社団法人 日本能率協会  
<<https://list.jma-member.com/>>
- ※2 自主保全士優待価格の適用は、自主保全士検定試験（試験日：2025年10月26日）にて合格された方が対象となります
- ※3 TPM経営者懇話会会員価格の適用には、公益社団法人日本プラントメンテナンス協会 TPM経営者懇話会の会員であることが必要です

**会員以外の方は、この機会にぜひ当会会員へのご入会をご検討ください**

### 参加申込方法・参加料支払方法

- 派遣窓口ご担当者、および参加者が「参加申込み規定」に同意したうえで、上記のWEBサイトよりお申込みください。FAXでのお申込みはできません
- 複数名でのご参加をご希望の場合も、上記のWEBサイトにて一括お申込みが可能です
- 開催日にご持参いただく**受付票は、開催日2週間前に参加者のメールアドレスへ送付**いたします。メールアドレスを持っていない参加者は、派遣窓口ご担当者のメールアドレスをご登録ください
- お申込みの際は、**本紙ならびにお申込みWEBサイトに記載の注意事項の内容をよくご確認のうえお申込み**ください
- 参加申込みは、開催直前まで受付いたしますが、テキスト（資料）・昼食（お弁当）などご用意できないこともございますので、お早めにお申込みください
- 参加料の**請求書は、開催日2週間前より派遣窓口ご担当者のメールアドレスへ送付**いたします。請求書に記載の入金期日・銀行口座にお振込みください。なお、振込に関わる手数料は貴社にてご負担ください
- キャンセル規定  
**開催当日～7営業日前の参加取消し：参加料全額**  
**※2026年6月10日(水)よりキャンセル不可**  
※キャンセル・変更の申し出は、以下URLよりお願いいたします  
<<https://info-jipm.jp/contact/>>  
お問い合わせ>イベント申込み後のお問い合わせ

- 録音・録画・撮影、およびSNSへの投稿は禁止です。守られなかった場合、著作権・肖像権侵害として対処することがございます。また今後の参加をお断りすることがございます
- 免責事項  
天災地変や伝染病の流行、大会会場・輸送等の機関のサービスの停止、官公庁の指示等の当会が管理できない事由により大会内容の一部変更および中止のために生じたお客様の損害については、当会ではその責任を負いかねます
- 個人情報に関する取り扱いについて  
ご記入いただいた個人情報は、当大会の運営・管理・資料送付、出欠の確認等に利用いたします。また、後日、当会より事業・サービス・セミナー等のご案内を送付させていただく場合がございます。当会は、ご提供いただいた個人情報を当会のプライバシーポリシーに則って安全対策を施し適切に管理いたします。当会のプライバシーポリシー、個人情報の開示・訂正・削除等の詳細につきましては、当会ホームページ（<https://www.jipm.or.jp/>）をご覧ください

## お問い合わせ先

公益社団法人日本プラントメンテナンス協会 普及推進部

TEL：0120-451-466（または、03-6865-6081） E-mail：EVENT@jipm.or.jp